

グループホームこすもす

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組んで いきたい 項目 | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|----------|-------------------------|--|--|---|---|--|
| 理念に基づく運営 | | | 1～5 (自己 1～24・外部 1～14) | 自己評価24項目・外部評価14項目 | 15 | |
| 理念に基づく運営 | 1 理念の共有(自己 1～3・外部 1～2) | | | 自己評価3項目・外部評価2項目 | 3 | |
| | 1 理念の共有 | 1 外部評価1 | 地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | ホーム開設時に作った目配り、気配り、心配り、心に寄り添うケアを家庭的な雰囲気の中でという理念をまだ完全に実行できていないことを反省して引き続きこころがけて介護の仕事にあたっている | 1 | 地域のとの付き合いを大切にという理念の実行が特に難しく、地域の祭りに今年も参加し交流をしている。夏には庭でバーベキューと花火を近所の子供を招待して楽しんだが、もっと日ごろからの自然な交流をしていかなければと思っている |
| | | 2 外部評価2 | 理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 職員会議の際や毎日の入居者とのふれあいのなかで、理念を確認してもらい、実行できるようこころがけている。 | 1 | 調理担当の職員を専任で雇用し、介護職員が入居者のことに専念できるようにしている |
| | | 3 | 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | 家族には理念を伝えているが、近所のかたとの接触が難しく実行できていない。 | 1 | 近所のスーパーや交番所などに理念を説明し、理解してもらい、近所のかたにグループホームのことをもっと理解してもらえよう努力していきたい。 |
| | 2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3) | | | 自己評価3項目・外部評価1項目 | 3 | |
| | 2 地域との支え合い | 4 | 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | グループホームの行事に招待したり、交番所の担当警察官のかたにもときどき訪問していただくようお願いしているが、なかなか実行できていない。 | 1 | 入居者の徘徊時の協力を交番所や近所をお願いしている。入居者が立ち寄ったお宅より連絡があり、迎えに行った事があり、今後も協力をお願いしたい。 |
| 5 外部評価3 | | 地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 自治会に入会しているが、組長さんが市報等を配布してくれる。行事があれば参加したいと思っているが、あまり行事はないようで、年に1度のお祭りには毎年参加している。 | 1 | 市主催の行事や展示会等に参加できる内容のものがあれば入居者をつれていきたいと思っている。インフルエンザなどに感染の機会が増えるのが心配である。 | |

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組んで いきたい 項目 | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|----------|-----------------|---------------------|--|--|---------------------|---|
| 理念に基づく運営 | 2 支地域 合との | 6 | 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | 地域への貢献はできていないが、区長には災害時の非難場所としての提供はできることを伝えている。 | 1 | もっと地域との交流が必要なので、運営推進会議の場を利用して区長や市の職員に協力をお願いして、役にたてることがないか、模索していきたい。 |
| | | 3 | 理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7) | 自己評価5項目・外部評価4項目 | 2 | |
| | | 7 外部 評価 4 | 評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 職員会議や勤務の空き時間を利用して外部評価の項目について話し合い、グループホームでのサービスについて認識してもらい、改善している | 0 | |
| | | 8 外部 評価 5 | 運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議で外部評価の結果について報告したが、参加者からは特に参考になるような意見は聞かれなかった。 | 0 | |
| | | 9 外部 評価 6 | 市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | サービスについての分からない事は市の介護課に相談しているが、市の担当者も分からないことが多く、ともにサービスの質の向上に取り組んでいるとはいえない。 | 0 | |
| | | 10 外部 評価 7 | 権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 自分たちで文献などで調べて、職員会議の場で、勉強している。市の職員に講義をお願いしたが、こちらのホームだけに来て講義をするのは差別になるのでできないと断られた。 | 1 | 無料で参加できる研修があればぜひ参加したいと職員は思っている。 |
| | | 11 | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 職員会議の場や職員が気がつかずに虐待になる恐れのあることを行っている場合など、機会があるごとにみんなで話し合い、反省を促し、防止に努めている。 | 1 | 職員会議で、お互いに気づいたことを注意し合っている。また市主催の無料の研修の機会があれば参加していく。 |

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組んで きたい 項目 | 取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|----------|---------------------------------------|---------------------|--|---|--------------------|---|
| | | 4 | 理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10) | 自己評価7項目・外部評価3項目 | 4 | |
| 理念に基づく運営 | 4 理念を 実践 する ため の 体制 | 12 | 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約書の内容について、説明、納得してもらった上で契約している。契約した後も疑問に思うことがあればいつでも対応できることを説明している。 | 0 | |
| | | 13 | 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 入居者には家族や訪問者と自由に話せるように、面会時には居室で話してもらい、職員は立ち入らないようにしている。管理者や職員は家族や面会者の意見をよく聞くように努力している。2ヶ月に1度はボランティアの相談員が市から訪問してこられ、入居者の苦情を聞いて、ホームへ伝えることになっている。 | 1 | 不満や苦情については真摯に受け止め、反省し、繰り返さないよう全員で共有し、改めていくようにしている |
| | | 14 外部 評価 8 | 家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 1ヶ月に1度は家族にホームにきていただき、利用料の支払いをお願いしている。その際に入居者の状況や小遣い帳や領収証のつづりをみていただき、確認をお願いしている。 | 1 | 行事の際に撮った写真などもみていただき、説明するようにしている。 |
| | | 15 外部 評価 9 | 運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 契約書や重要事項説明書で苦情相談窓口のことを説明、市の介護保険課や国保連に相談できることを伝えている。ホーム内にも掲示しているが、まだ外部からの苦情や意見はきていない。職員や管理者はいつでも対応できることを伝えている | 1 | 家族からの意見は丁寧に伺い、必ず職員全員で共有し、検討して、繰り返す事のないように、さらに良い方向へ持っていくように努力していく。 |
| | | 16 | 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 入居者により良いサービスを提供できるよう、また職員が気持ちよく働けるようになるための意見があれば、職員会議の場や個人的な場でも機会のあるごとに取り入れて、検討するようにしている。 | 1 | 職員の意見でよいと思われるものは取り入れ、実行してみて、改善すべき点はまた改善していくようにしている。 |
| | | 17 | 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | 利用者の急変時などは、緊急連絡体制で管理者から、連絡し、職員の緊急呼び出しや時間外の勤務ができるようにしている。 | 0 | |

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組んで いきたい 項目 | 取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|----------|-----|-----------------------------|--|---|---------------------|-------------------------------------|
| 理念に基づく運営 | 4 | 18 | 職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 退職する場合は1ヶ月前に必ず申し出るように職員に徹底している。管理者には3ヶ月前に申し出るようにしている。できるだけ早急に新しい職員を採用し、利用者の状況を十分に引き継ぐようにしている。 | 0 | |
| | 5 | 人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14) | | 自己評価6項目・外部評価4項目 | 3 | |
| | 5 | 19 | 人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している | 年齢や性別を理由に採用、不採用を決定したことはない。職員がお互いの良いところを認め、足りないところを補って、協力しあって気持ちよく働けるように、事業者は配慮している。 | 0 | |
| | | 20 | 人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる | 職員会議の場を利用して、介護従業者の倫理規定やプライバシーの保護について研修し、入居者は人生の大先輩であり、尊敬の念を持って接していかなければいけないことを繰り返し、伝えている。 | 1 | 人権教育や啓発に関する研修の機会があれば参加したい。 |
| | | 21 | 職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 行政や医療機関から研修の知らせがあれば、必ず参加させるようにしている。参加できなかった者は参加した者から、説明、指導を受けるようにしている。 | 1 | 今年度は職員二人に認知症実践者研修を受けさせることを予定している。 |
| | | 22 | 同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 職員が自主的に他のグループホームを見学、良いところを取り入れようと努力している | 0 | |
| | | 23 | 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | 管理者や職員の意見を電話などでもできるだけ聞いて対処するようにしている | 0 | |

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組んでいき きたい項目 | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|---|-----------------------|--|--|--|--|--|
| | 5 と人材 支援の 育成 | 24 | 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | 努力している職員を把握して、できるだけ賞賛や激励の言葉をかけるようにしている | 1 | ケアマネや介護福祉士の資格をとりたいたいと思っている職員にはできるだけ配慮をし、応援することになっている |
| 安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16) | | | | 自己評価10項目・外部評価2項目 | 6 | |
| 安心と信頼に向けた関係作りと支援 | 1 | 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15) | | 自己評価4項目・外部評価1項目 | 2 | |
| | 1 | 25 | 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 家族から相談を受けることがほとんどで本人自身から聴くのは入所した後の事になるが、入所したばかりの不安を取り除き、ホームの暮らしに慣れてもらうためにも話をする機会を多くしている。 | 1 | 入所前に本人の話を聞くようにこころがけていきたいと思っている |
| | | 26 | 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 相談があれば、十分な時間を作り、話を聴くようにしている。 | 0 | |
| | | 27 | 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 居宅サービスの経験もあり、必要と思われるサービスを案内することができるので、そのように努力している | 1 | 市町村とも連携して、必要なサービスの提供に努めていく。 |
| | | 28 | 馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 相談があった場合、必ず「よろしければ、本人と見学に来たり、気楽に遊びにお出でください」と伝えるようにしている。 | 0 | |
| | | 2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16) | | 自己評価6項目・外部評価1項目 | 4 | |
| | 29 | 本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 介護の合間には入居者といっしょにリビングで昔話に花を咲かせたり、美味しい食べ物や調理方法を教えてもらったり、高齢者の知恵を拝借している。入居者の昔の体験から学ぶこともある。 | 1 | 高齢者の今までの人生経験に尊敬の気持ちを持って、接していかなければならないと思っている。 | |

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組んで いきたい 項目 | 取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|---|------------------------|--|--|---|---------------------|--|
| 安心と信頼に向けた関係作りと支援 | 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | 30 | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | 利用者と家族に安心して暮らしてもらえるよう、家族とは必要な連絡をとりあい、相談しながら、利用者がよい方向に向かうと喜びをとみにしている。 | 1 | 入所が長くなり、利用者が安定してくると家族とも疎遠になりがちなので、できるだけ連絡して、利用者に関わっていただけるように努めていきたい。 |
| | | 31 | 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | 家族が面会に来られても、拒否する入居者がよく職員には気持ちを開いてくれたのでなんとか、家族との仲を良い方向に持っていけないものかと家族には現在の状況を連絡し希望を持って会いにきてほしいと伝えている | 1 | 利用者の誕生会や行事に家族にも出席してもらい、良い関係を築いていけるよう努力したい。 |
| | | 32 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 面会にきてくれた家族や友人にはホーム全体で歓迎の意を伝え、いつでも再度の訪問を待っていることを伝えるようにしている。遠方の家族へは電話などで、本人と直接話してもらおうようにしている。天気の良い日などに自宅のほうへドライブにでかけ、思い出の場所の話を聴いたりしている。 | 0 | |
| | | 33 | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | 職員が説得するよりも利用者に話してもらったほうがよいことも多い。目が不自由な利用者を他の利用者が助けていることもあり、職員はお礼を言って、お願いしている。リビングの席や食堂の席も利用者同士の関係がうまくいくように配慮している。 | 1 | 利用者同士で支えあうとどちらもとてもよい関係になり、自信にもつながるようなので、これからも気をつけてそういう機会を増やしていきたい |
| | | 34 | 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 継続的な関わりが必要な利用者には関わっていきたくらいと思っているが、現在のところそのような利用者はいない。 | 0 | |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22) | | | | 自己評価 17項目・外部評価 6項目 | 3 | |
| 1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17) | | | | 自己評価 3項目・外部評価 1項目 | 0 | |
| 1 | 35 外部 評価 17 | 思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | | 利用者と会話する機会を多くして、本人の意向や希望を聞くようにしている。よくわからないときは本人の様子や職員の話から本人の気持ちを理解するように努めている。 | 0 | |

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組んでいきたい項目 | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|--------------------------|----------------------------------|--|---|--|-------------|---------------------------------|
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 1 一人ひとりの把握 | 36 | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 改まって聴く事はないが、リビングなどで何気ない昔話をしているときに聞くようにしている。 | 0 | |
| | | 37 | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | ホームを開設して2年近くなるので、職員も利用者の過ごし方や心身の状態が把握できるようになった。できることも把握しており、してもらっている。体調の変化にも気をつけて気がつくようになった。 | 0 | |
| | 2 | 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19) | 自己評価3項目・外部評価2項目 | 0 | | |
| | 2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 38 外部評価18 | チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 家族、介護職員、本人が参加して、サービス担当者会議を開催している。 | 0 | |
| | | 39 外部評価19 | 現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 医療機関から退院してきた場合など、主治医や家族と相談し、新たなサービス計画を作成している。 | 0 | |
| | | 40 | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 毎日の介護記録、排泄状況、バイタルチェックなどを記録、情報を共有しているが、まだまだ、個別記録の方法には反省する点が多い | 0 | |
| | 3 | 多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20) | 自己評価1項目・外部評価1項目 | 0 | | |
| | 3 多機能を活かした柔軟な支援 | 41 外部評価20 | 事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 医療機関への受診や入院中の対応は家族にお願いしているが、お願いできる家族がいない利用者にはホームの職員で対応している。生活保護のケースワーカーとの連絡も管理者が行っている。 | 0 | |

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組んで いきたい 項目 | 取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|--------------------------|-----|----|--|--|---------------------|--|
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 4 | | 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22) | 自己評価 10 項目・外部評価 2 項目 | 3 | |
| | | 42 | 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 徘徊時の対応を近くの交番所をお願いしている。 災害時の協力もお願いしている。 | 1 | 利用者の必要に応じて警察、消防、民生委員の方たちと連携していきたいと思っているので、運営推進会議などに出席をお願いしていく。 |
| | 4 | 43 | 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている | 退所した利用者がデイサービスを利用すること、居宅の介護支援専門員に情報を提供した。 | 0 | |
| | | 44 | 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 必要があれば連携していきたいと思っているが、現在はなにもしていない。 | 0 | |
| | | 45 | かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 2週間に1度の往診を受けているが、状況に応じて受診することもある。24時間連絡し、指示を受けることができる。他の医療機関への連絡、紹介もしてもらえる。 | 1 | 体調の変化や主治医からの指摘があれば、家族へ連絡し、家族の意向を大切に、適切な医療を受けられるように、努力している。 |
| | | 46 | 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 被害妄想や自傷行為など精神症状の激しい利用者がかかりつけの専門医と連絡や相談をしながら、受診が必要な場合は介助している。 | 0 | |
| | | 47 | 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | グループホームのかかりつけ医院の看護師にもいつでも相談ができる。管理者も看護師の資格があるので、健康管理には注意して、異常があれば、すぐに医療機関への連絡をとっている。 | 0 | |

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組んで いきたい 項目 | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|--|--|--|--|--|---------------------|---|
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 4 | 48 | 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | 利用者が入院した場合はできるだけ頻りに面会に行くようにして、病院関係者と連絡をとっている。どのような状況まで、回復すれば、ホームとして受け入れることができるかなどを伝えて、退院に向けたたりハビリをお願いしている。 | 1 | 入院の必要なときは医療機関に受け入れてもらい、退院できる状況になったときは速やかにホームにかえられるよう、医療機関と連携していきたい。 |
| | | 49 | 重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 家族はグループホームで最後まで暮らしてほしいと希望される方が多いので、終末期に向けた方針をつくらなければいけないが、まだできていない。 | 0 | |
| | | 50 | 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 寝たきりになった場合、入浴の設備がなく、入浴ができない状況になることを家族に相談すると、短い期間であれば、清拭などで対応できるが、長くなるとやはり、設備のある大きい施設に変わらなければと考えているようである。 | 0 | |
| | | 51 | 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | 退所の際は家族とは十分に話し合い、こちらが持っている情報は全て伝えるようにしている。本人が退所後、できるだけ快適な環境で暮らせるように努めている。 | 0 | |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33) | | | | 自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目 | 16 | |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 1 | その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30) | | 自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目 | 14 | |
| | | (1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24) | 自己評価 3 項目・外部評価 2 項目 | 3 | | |
| | | 52 | プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 利用者には尊敬の念を持って接するように話し合っている。言葉使いに注意し、プライバシーの保護にも注意を払っている。 | 1 | 長く携るうちに馴れ合いになってしまわないように、職員で注意しあっていく。 |
| 53 | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | 一人ひとりの状態に合わせた働きかけやコミュニケーションを心がけ、他の入居者にも自分の意見を伝えやすい環境づくりに努めている。 | 1 | 利用者が分かる、わからないを決め付けず、小さなことでも利用者の意向を聞きながら、アドバイスをして、利用者の意思を尊重していきたい。 | | |

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組んでほしい項目 | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|-------------------|------------------|--|--|------------|---|
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 1 その人らしい暮らしの支援 | 54 外部評価 24 | 日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 利用者の状態を観察し、一人ひとりの気持ちを大切に希望にそった援助をしている | 1 | 近所への買い物などもっと外出の機会を増やしていきたいと思っている |
| | | (2) | その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26) | 自己評価6項目・外部評価2項目 | 2 | |
| | | 55 | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | 2ヶ月に1度、理容室の訪問を受けて、散髪や顔そりをしてもらっている。特に本人が希望する美容室はない。化粧品などは本人の使いつけたものを購入するように援助している | 0 | |
| | | 56 外部評価 25 | 食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 箸を並べたり、配膳を手伝ってもらったりしている。豆の皮を剥いたり、落の筋をとったりしてもらうが、火を使っての調理はしてもらっていない。利用者に食べたいものを尋ねて献立の参考にしている。 | 0 | |
| | | 57 | 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | 季節に合わせたおやつや本人の希望にあわせた飲み物を用意している。利用者も楽しみにしている。 | 1 | 日常の会話の中で、本人の食べたいものや飲みたいものを察知して、希望に副えるようにしていく。 |
| | | 58 | 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | 排泄チェック表で排泄パターンを把握し、声かけ、誘導しているが、女性入居者の場合、立ち上がったときに失禁してしまうことが多い。紙パンツの交換やパッドの交換を介助し、清潔に保てるよう援助している。 | 1 | 排泄のチェックを早めに行い、できるだけ、紙パンツやパッドの使用量を減らしていく。 |
| | | 59 外部評価 26 | 入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 月・水・金曜日に入浴日が決まっているが、そのなかで、本人の希望のできるだけあわせて入浴してもらうようにしている。 | 0 | |

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組んで いきたい 項目 | 取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|-------------------|------------------|---|--|---------------------|--|
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 1 その人らしい暮らしの支援 | 60 | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | 本人の生活習慣に合わせて、自由に休んでもらっている。夕食後に居室の戸締りや冷暖房のチェックを行い、安心して休めるよう環境を整えている。 | 0 | |
| | | (3) | その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28) | 自己評価6項目・外部評価2項目 | 5 | |
| | | 61 外部評価 27 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | リーダー的な気持ちの入居者にはそういう役割をお願いしている。女性利用者には配膳の手伝いや洗濯物たたみをしてもらっている。昔ながらの調理方法や季節の習慣など、参考になることを教えてもらっている。 | 1 | 昔の話を聴くといきいきと話してくれるのでできるだけ、そういう会話の時間を作り、ひとりひとりの喜びをみつけていきたい。 |
| | | 62 | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | お金を自分で管理できる入居者はいない。家族の意向で事務所で預かり、管理しているが本人には自分で自由に使えるお金を預かっていることを伝えて、いつでも希望に副えることを伝えている。 | 1 | バスバイクで出かけたときは道の駅やお土産やさんに寄り、買い物ができるように援助している。 |
| | | 63 外部評価 28 | 日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 天気の良い日は散歩や日向ぼっこに誘い、介助している。近所の買い物などの外出も希望に応じて支援している。 | 1 | 外に出たがらない利用者が多いが、これから暖かくなるので、天気の良い日は上手な声かけや誘導ができるように努力して、散歩や買い物などの外出の機会を増やすようにしていきたい。 |
| | | 64 | 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 年に1回はバスを利用して、遠出を楽しんでいる。希望される家族には参加してもらっている。花見などの行事も全員でかけている | 1 | 生まれ故郷に帰りたいといつも外にでていく利用者に、気候がよくなったら、職員や家族でつれていきたいと思っている。 |
| | | 65 | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 利用者が希望されれば家族に電話をして直接会話してもらっている。 | 1 | 本人の希望に副ってできるだけ、本人自ら電話をしようようにしている。 |

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組んでいきたい項目 | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) | |
|-----------------------|-------------------|------------------------------------|---|--|-----------------|-------------------------------------|--|
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 1 その人らしい暮らしの支援 | 66 | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している | 利用者の居室に椅子を用意して、家族水入らずで、ゆっくり過ごしてもらうようところがけている。 | 0 | | |
| | | (4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30) | | | 自己評価8項目・外部評価2項目 | 1 | |
| | | 67 | 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 職員会議を利用してマニュアルを配布、全員で検討し、拘束をしないケアの大切さを理解している。現在のところは拘束が必要な利用者はいない。 | 0 | | |
| | | 68 外部評価29 | 鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 日中は見守りを行い、玄関に鍵をかけないようにしている。外に出たがるときは時間が許せば、散歩につれていき、時間がないときは庭をしばらく歩くようにしている。 | 0 | | |
| | | 69 | 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | 日中はできるだけリビングでテレビをみたり会話をしながら、過ごしてもらっているが、居室に居たい方には自由に居室ですごしてもらい、1時間ごとに様子をみにいくようにしている。夜間は2時間毎に巡回をしている。 | 0 | | |
| | | 70 | 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | 入居者の状態に合わせて、リビングや食堂で座る場所を決めたり、居室に置くものや履物などを決めている。 | 0 | | |
| | | 71 | 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | ヒヤリハット、事故報告書などを活用し、常に職員間で再発防止について話し合っている。食事の際の声かけ、見守りを行い、服薬も名前と日付を確認、チェックし、本人に渡し、服用するまでの見守りを行っている。 | 1 | 事故防止については職員会議の場を利用して機会あるごとに注意をしている。 | |

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組んで いきたい 項目 | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|-------------------|------------------|--|--|---------------------|---|
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 1 その人らしい暮らしの支援 | 72 | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | 事故対応マニュアルや応急手当のマニュアルを作成、職員会議などで研修会を行っている。 | 0 | |
| | | 73 外部評価 30 | 災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 災害時の対応マニュアルを作成し、研修会を開催している。火災時の非難訓練を年に2回行い、対応を確認している。近所の交番所に災害時の協力をお願いしている。近所の人々の協力をお願いしなければならないができていない。 | 0 | |
| | | 74 | リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている | 家族にはリスクについての説明をし、防止するための最善の努力をすることを伝えている。できるだけ見守りを行い、拘束をしないように努力するよう職員で話し合っている。 | 0 | |
| | | (5) | その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31) | 自己評価7項目・外部評価1項目 | 3 | |
| | | 75 | 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | 毎日バイタルチェックや排泄状況のチェックを行い、細やかな観察と職員間での情報を共有し、体調の急変時には速やかに対処することができるようにしている。 | 1 | 管理者やかかりつけ医に連絡する必要がある基準のマニュアルを作成し、職員全員で共有するようにしている |
| | | 76 | 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 個人のファイルに薬の説明書を添付して、副作用などを確認できるようにしている。服薬が変更になったり、追加になった場合は連絡帳で職員全員に伝達できるようにしている。調整が必要な便秘薬や睡眠導入剤などについては熟知するように指導している。 | 1 | 職員も薬の副作用や効能について、よく知っておく必要があることを自覚し、機会があるごとに調べてお互いに教えたりしている。 |
| | | 77 | 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | 水分補給と野菜中心の食事を取り入れ、利用者に必要な性を説明している。散歩や体操で身体を動かすように支援している。排便状態には常に注意し、便秘薬服用の調整を行っている。 | 0 | |

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組んで いきたい 項目 | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) | |
|-----------------------|-------------------------------|---|---|--|---------------------|--|--|
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 1 その人らしい暮らしの支援 | 78 | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 食後に口腔ケアの声かけを行い、介助が必要な利用者には介助をしている。週1回のポリドントによる入れ歯洗浄と歯科医師、歯科衛生士による口腔ケアを実施している。 | 1 | 職員は肺炎などの予防のためにも口腔ケアの大切なことを理解しており、これからも口腔ケアを確実にできるように介助していくことにしている。 | |
| | | 79 | 栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 水分摂取量は毎回チェックし、1日の摂取量を記録している。摂取量の少ない利用者には声かけして、摂取してもらうようにしている。食事の摂取も毎回注意して、多すぎて残している場合は少し主食を減らして、副食を残さないようにしてもらっている。献立は肉、魚野菜を偏らないように考えて作っている。 | 0 | | |
| | | 80 | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等） | 感染症の対策については県の環境事務所主催の研修があり、手洗いや嘔吐物の処理方法についての講義を受け、マニュアルを作成し、職員全員で研修会を開催、実習した。インフルエンザの予防注射は入居者、職員全員が受けている。 | 0 | | |
| | | 81 | 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | 食材の賞味期限などに注意している。卵は養鶏所から配達してもらっている。調理担当者には調理用具や調理場を常に清潔に保つよう指導し、管理者もチェックしている。 | 0 | | |
| | 2 | その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33) | | | 自己評価 8項目・外部評価 2項目 | 2 | |
| | 2 | (1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33) | | | 自己評価 5項目・外部評価 2項目 | 1 | |
| | 2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える | 82 | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 玄関は出入りがしやすいよう、邪魔なものを置かず、広い空間にしている。庭や駐車場を広くとり、開放的な雰囲気になっている。 | 0 | | |
| | | 83 | 居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居間には行事のときに撮った写真やそれぞれの誕生日を掲示している。鏡餅、お雛様や七夕飾りを置いて季節を感じられるようにしている。テレビの前にソファをおいて、ゆっくり、会話をしたり、くつろいでもらうようにしている。 | 0 | | |

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組んで いきたい 項目 | 取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) | |
|-----------------------|---------------------------|-----------------------------------|---|---|---------------------|---|--|
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | 84 | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | ソファとテレビを置き、入居者が好きな場所に座り、会話を楽しんだり、うたたねをしている。ベランダに出て、日光浴をする入居者もいる。 | 0 | | |
| | | 85 外部評価 33 | 居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室には本人の使い慣れたものを持ってきてもらっている。ベッドでなく畳を希望される入居者には畳に布団を敷いて休んでいる。 | 0 | | |
| | | 86 | 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | 掃除の際は必ず窓を開けて換気をしている。冷暖房はこまめに居室をまわり、適切な温度に保つようになっている。 | 0 | | |
| | | (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89) | | | 自己評価3項目 | 1 | |
| | | 87 | 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 廊下や玄関、浴室には手摺りを設置、駐車場から建物の中まで段差がないようにしている | 0 | | |
| | | 88 | わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | 居室を間違える利用者のために居室のドアに利用者の写真を貼り、自分の居室を間違えないよう工夫している。食堂の座る椅子に名前を貼っている。 | 0 | | |
| | | 89 | 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | 広い庭があり、自由に散歩が楽しめるようにしている。ベランダにもテーブルと椅子を置いて日向ぼっこや景色をながめながら過ごせるようにしている。 | 1 | 庭には果物のなる木が植えてあり、入居者が収穫して食べることができるようにしている。梅や桜の木があるので、花見の計画をしている。 | |

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組んで いきたい 項目 | 取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|-----|--|---|---------------------------------|---------------------|---|
| サービスの成果に関する項目 | | | | 取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること) | 該当 番号 | |
| サービスの 成果に 関する 項目 | 90 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない | 1 | | |
| | 91 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない | 1 | | |
| | 92 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない | 1 | | |
| | 93 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない | 1 | | |
| | 94 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない | 2 | | |
| | 95 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない | 1 | | |
| | 96 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない | 1 | | |
| | 97 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない | 2 | | |
| | 98 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている | ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない | 3 | | |

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組んでいきたい項目 | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|---------------|-----|-----|---|--|-------------|---------------------------------|
| サービスの成果に関する項目 | | 99 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない | 3 | |
| | | 100 | 職員は、生き活きと働けている | ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない | 1 | |
| | | 101 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない | 2 | |
| | | 102 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない | 2 | |
| サービスの成果に関する項目 | | | | 取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること) | 該当番号 | |

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。